



令和3年2月17日

各位

会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川瀬 啓輔
(コード 7851 東証第2部)
問合せ先 最高財務責任者 糸川 克秀
(TEL 06-6222-7474)

特別利益及び特別損失計上並びに 令和3年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和2年9月25日に公表いたしました令和3年3月期の通期業績予想を修正する事といたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益と特別損失計上について

(1) 特別利益

東京本社が入居していたオフィスビルが、所有者の意向により建て壊しが決まっており、令和2年12月に東京事務所を移転しました。令和3年1月に事務所引渡しが完了したことにより、退去補償金額が確定しましたので、101,455千円を令和3年3月期第4四半期累計期間において特別利益として計上することを見込んでおります。

(2) 特別損失

今期使用見込みの無くなった固定資産24,702千円及び電話加入権901千円の減損損失を令和3年3月期第4四半期累計期間において特別損失として計上することを見込んでおります。

2. 令和3年3月期通期 個別業績予想の修正

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,670	百万円 10	百万円 20	百万円 10	円 銭 2 11
今回修正予想(B)	2,585	5	15	70	14 80
増減額(B-A)	△85	△5	△5	60	
増減率(%)	△3.2	—	—	600.00	
(ご参考)前期実績 (令和2年3月期)	2,763	△141	△136	△662	△140 06

修正の理由

令和2年9月25日に公表いたしました令和3年3月期の通期業績予想時点では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの全国規模での緊急事態宣言は無いことを前提として公表しましたが、令和3年1月7日の2回目の緊急事態宣言及びその延長を踏まえ、得意先への訪問営業抑制等は長期化するものと予想され、新規案件や新規取引先の獲得はますます時間を要するものと思われます。当社としては、売上高に見合う原価率の低減や経費削減に努めておりますが、売上減少に見合うまでの経費削減には至っておりません。現時点で可能な範囲で織り込んだ結果、売上高は前期に比べて減少するものの、営業利益、経常利益、当期純利益は黒字になると予想しております。

なお、業績予想は新型コロナウイルスの感染拡大、収束の状況や時期をはじめとする外的要因により予期せぬ変動が生じる可能性も否定できないため、大きな変動が見込まれる場合は、改めて速やかに業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。

以上